

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

水戸市立共同調理場運営委員会

2 開催日時

令和8年2月13日（金） 午前11時 から 11時30分 まで

3 開催場所

水戸市立学校給食共同調理場 2階 研修室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

小泉 康二, 大谷 幹伸, 木野内 喜久恵, 大内 邦明, 朝日 広一, 齋田 由加理,
中根 泰司, 山崎 富江, 西村 美帆, 川崎 尚子, 川和田 篤史, 武藤 房江
(委員15名中12名出席)

(2) 事務局

相沢 秀幸, 堀 晴子, 小林 且弥, 木村 善枝, 桐原 尚子

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 学校給食共同調理場の運営について [公開]

(2) その他 [公開]

6 傍聴人の数

0人

7 会議資料の名称

水戸市立共同調理場運営委員会資料

8 発言の内容

別紙のとおり

別 紙

令和7年度 水戸市立共同調理場運営委員会における発言の内容等について

1 会長の選出

委員の互選により、会長には小泉氏が選出された。

2 議題の審議

議 長 議題の「(1) 令和7年度学校給食共同調理場の運営状況」について、事務局から説明してください。

事務局 << 資料に基づき、説明 >>

議 長 このことに関して、御質問、御意見等はございますか。

委 員 共同調理場で作られている給食と各小学校で作られている給食は、同じ献立なのでしょうか。

事務局 学校によって異なっております。

委 員 そうしますと、栄養バランスが異なってくると思いますが、週単位などで、市内同レベルのものになっているのでしょうか。

事務局 資料3ページにもありますが、学校給食摂取基準において、小学生、中学生、それぞれ摂るべきエネルギーや栄養素の量が定められております。小学校は、献立が2ブロックに分かれておりますが、それぞれのブロックで、その基準に基づき、小学生に合った内容で、栄養教諭の先生方が献立作成をしております。

委 員 小学校では各校バラバラの給食が提供されているということですか。

事務局 全ての学校ごとに献立を作成しているのではなく、ブロックごとの献立となります。

委 員 ブロック統一の献立ということですね。

事務局 はい。年間で統一献立というものもありますので、小学校、中学校で統一された献立が提供されることもあります。年に数回、特色ある献立を小中学校統一で提供しております。

議 長 食材の仕入れもブロックごとに行っているのでしょうか。

事務局 共同調理場につきましては、基本、毎月見積み合わせを行っております。小学校につきましては、ブロックごとに使う食材を決めており、発注は各学校で行っております。

議 長 各学校ごとに納品していただいているんですね。

事務局 はい。小学校は近隣の業者に発注しております。

議 長 支払も各学校単位ですか。

事務局 毎月、業者から各学校へ納品したものを1か月ごとにまとめ、請求書をいただき、市で支払をしています。予算については、学校ごとに人数に基づき、予算を決めており、その範囲内で執行してもらおうよう、栄養教諭の先生方には献立を作成していただいています。

議 長 栄養教諭の先生方が、金額もそうですが、先ほどの学校給食栄養摂取基準に見合った献立を作成しているんですね。

事務局 はい。学校給食栄養摂取基準に基づいて作成していただくのが大前提となっています。その上で、さらに、予算の範囲内で作成していただいています。

議 長 各小学校で、学区内あるいは近隣の業者さんとの付き合いを大事にすることも重要ですが、そうしますとどうしても小ロットとなることから、同等の食材、同等品であっても、格差が生じるのではないのでしょうか。

事務局 共通で使っているもの、例えば、MITOごはんで使用する学校給食開発品については統一金額です。それぞれの地域がありますので、仕入れの業者によって多少差が生じることはあり得ますが、統一できるものは統一しております。

議 長 栄養教諭の視点から、御苦労な点などありますか。

委 員 取引がある業者によって、野菜の価格などは異なってきます。同じ献立を立てていても、一人当たりに係る給食費には誤差が生じます。私たちとしては同じ栄養価で、公平に提供したいと思います。自分の学校だけではなく、市内の子どもたちには同じように食べていただきたいと思っています。ただ、学校ごとに予算が配当されるので、そこが苦慮するところです。

議 長 どの児童にあっても等しくしたいところですね。

事務局 予算については、やはり物価が上がっておりますので、毎年度、予算総額は上げている状況です。近年の物価上昇に合わせて、予算は確保しているところではありますが、栄養教諭の先生方にはかなり御苦労をかけていると思っています。

議 長 栄養価は基本同一とするとした場合、価格差が生じているところについては、弾力的に予算配当ができるのでしょうか。

事務局 基本的に配当予算については、単価、人数、回数で決めております。小規模の学校については、ロットが小さく割高になる可能性がありますので、単価を少し上げております。予算が不足した場合には、市の予算で対応していますが、基本は、予算内に収めていただくようお願いしています。

議 長 ブロック内で価格が統一となるよう工夫をすべきではないのでしょうか。

事務局 検討の余地はあるかと思います。

議 長 1番大切にしたいと思うところは、皆さん同じで、子どもたちが摂取する栄養価が同じになること、同等の食品を提供することを担保したいということだと思います。

事務局 年度当初の配当額がすべてではありません。今年度におきましては、お米の価格が令和7年産は令和6年産に比べ、かなり上がりましたので、配当額を増額する対応をしました。実際の物価の上昇については、毎月の支払で確認しておりますので、その状況に合わせて対応いたします。

議 長 ぜひ弾力的な予算配当、その仕組みづくりなど、きめ細やかな対応をお願いします。

委 員 ブロックごとに献立作成をしているとのことですが、2種類あるということですか。

事務局 小学校はそうです。

委 員 ブロック内で統一した献立を提供しており、学校ごとに特色あるものを出したり、違うものをつけたりはしていないということでしょうか。

事務局 原則しておりません。

委 員 予算を配当して、学校ごとに発注し、支払をしているということですね。共同調理場のように一括で発注し、支払をするということではできないのでしょうか。

事務局 会計の管理、支払は市が行っております。各学校で調理していることから、納品場所も異なるため、1社での対応はできないので複数の業者をお願いしています。納品時間も限られていることから、配送先が複数箇所になると対応が難しいと考えられます。

価格の統一については、量の違いもあるので、難しいと思われていますが、何らかの方法がないか検討してまいります。

委員 小学校勤務時に、年度末に業者と契約を交わしていましたが、今もそうでしょうか。
事務局 私会計の時はそうでしたが、公会計になってからは、市が業者と契約を締結していません。

委員 市と契約した業者に各学校が発注しているんですね。

委員 小学校に勤務していた時、配当された予算を学校で執行してくださいという感じでした。

議長 共同調理場と同じような仕組みで、ブロック内の取りまとめと発注ができればいいと思います。

委員 MITOごはんでは納豆が提供されていますが、納豆は健康に非常にいいものです。昨年6月、関西医科大学の高齢男性を対象とした調査で、納豆を習慣的に摂取している男性は死亡リスクが低く、週に数パック摂取する男性では摂取しない男性より40%低いことが示されています。子どもたちの食習慣は将来ずっと続いていきますので、納豆嫌いを少なくすること、納豆をたくさん摂ること、保健所としても、とてもありがたいです。

議長 納豆は発酵食品で、腸活にもいいという話もあります。保健所とタイアップして何かやってもいいですね。

議長 JA水戸有機農業研究会も設立されましたが、有機農業についてはいかがでしょうか。

事務局 現在、水戸市においてJAS認証を取得されており、水戸市と取引している生産者は2者のみのため、有機農産物を市内のすべての学校へ提供することは困難な状況です。
共同調理場につきましては、JAS認証規格で栽培された、JA水戸有機農業研究会のじゃがいもを昨年使用し、今年の1月から2月にかけては、にんじんを使用し、受配校である全中学校及び小学校2校の給食で提供したところです。研究会の方々が、JAS認証を取得し、有機農産物の生産者が増えていけば、提供できる学校も増えてくると思います。

議長 JAS認証取得は困難なようです。水戸市において、取得の少し手前の生産者も認めるなどして推進してはどうでしょうか。

事務局 現在、JAS認証取得に向けて活動しているJA水戸有機農業研究会の野菜を給食用の食材として購入しております。化学肥料を使わない、農薬を使わないというものであり、JAS認証未取得なので、有機とは言えませんが、有機農産物となる前段のものであり、同等のものを共同調理場で使用しております。手間がかかり、価格も少し高めですが、こちらについては、農産振興課の予算「地場農産物の活用事業」を活用しております。間接的ではありますが、支援していければと思っております。共同調理場での納品は1箇所です済みますが、小学校となると複数箇所になるので、生産者が増えていけば対応できるかと思えます。

議長 小学校へも広げられる可能性もありますので、農産振興課及びJA水戸有機農業研究会とも連携しながら、行ってほしいと思います。

議長 食育についてはどうでしょうか。

事務局 給食は生きた教材として活用されています。食に関する正しい知識、将来にわたって

食習慣を身につけられるものです。また、MITOごはん、郷土料理、プロスポーツクラブ応援献立などの献立も食育に寄与するものであり、栄養教諭による食に関する指導も栄養教諭が配置されていない学校でも、行っているところです。

食育講演会も毎年開催しており、令和5年度からは、楽しく学んでいただければと講演会と併せて、イベントも行い、広めているところです。

さらに、共同調理場におきましても、見学と栄養士の講話、それから、給食の試食をしていただいて、食育を行っているところです。

議長 異物混入事故はどうでしょうか。

事務局 昨年度は共同調理場で金属片、今年度は小学校でプラスチック片が混入した事故がありました。

議長 原因は判明しているのでしょうか。

事務局 プラスチック片については判明しておりますが、金属片については不明のままです。共同調理場で使用している器具や機器類は全て点検しました。使われた食材についても、保健所にも関わっていただき、各メーカーへ問い合わせもいたしましたが、分かっておりません。

議長 他市でも起こっているのでしょうか。

委員 他市で勤務していた時にもありました。メンテナンスがしっかりしていないところもあります。

事務局 調理に当たっては、毎日調理前、調理後に使用する器具・機器類は点検しております。

委員 業者による更正もしているのでしょうか。

事務局 年に1回実施しております。

議長 一度の事故が信頼を失います。子どもたちにも楽しく給食を食べてもらいたいので、調理員や業者による点検を適切に行ってもらいたいです。

委員 食が大事に思われている時代ですので、養護教諭として、栄養教諭はぜひ全校配置にさせていただきたいと思っています。栄養教諭の制度が出来る前は、その業務を養護教諭が担い、栄養指導、健康について指導してきました。養護教諭は持病を持つ児童生徒との関わりも多く、健康第一、食べて元気になろうと言うことが難しいこともありました。栄養教諭制度が出来たおかげで、養護教諭は基礎疾患のある子どもたちに思いつき寄り添えるようになりました。未配置校に勤務していたときは、献立や予算に関わる事が多く、大変な思いをしました。そこを担ってくれる方がいることが大事です。県職としての配置は難しいのであれば、水戸市が市職員として全校配置を考えるのはいかがでしょうか。

事務局 栄養教諭としては難しいと思います。水戸市はほとんどの小学校の調理等業務を委託しており、そこには、現場の管理をする市の栄養士を2校につき1人を配置しています。

栄養教諭は1校に1人の意見には賛成ですが、それは「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、県が配置することになっているところです。基本的には教諭の配置は県が考えるべきことかと思えます。

委員 学力向上サポーターなどは、市でも配置されてきています。市で要望し、食を担う人を配置する働きかけをしてもいいのではないのでしょうか。

委員 他市町村のことになりますが、笠間市では市採用の栄養教諭が配置されたと思います

ので、参考にさせていただき、検討していただけたらありがたいです。

議 長 貴重な御意見ありがとうございます。栄養教諭ではないかもしれませんが、それを補完できるような専門性をもった方が学校ごとに整えられればと思います。給食費が無償化されれば良いというわけではありません。中身が充実して、子どもたちが満足できる体制が整えられることが、何よりも最優先されることだと思います。

議 長 ほかに御意見ございませんか。

ないようですので、次に、議題の「(2) その他」について、何かございますか。

事務局 事務局からは、特にございません。

議 長 特に無いようでございますので、以上で、議事を終了させていただきます。

皆様には、充実した議論に御協力いただきありがとうございました。皆様から頂戴した御意見等については、今後の学校給食の運営に反映していただければと思いますので、事務局の皆様もどうぞよろしく願いいたします。

事務局 皆様、本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。

以上で、令和7年度水戸市共同調理場運営委員会を閉会いたします。